

CNGトラック東京～姫路620km無充填走破

CNG車は航続距離が短いと言われてますが、その定説を覆し長距離走行にも耐え得ることを証明する試みが、平成21年11月1日(日)に行われました。

実施したのは、CNG車を先駆的に利用し業績を伸ばしている(株)エコトラック（大阪・門真市 池田治子社長）で、同社の池田雅信取締役がドライバーを務めました。

使用車両は、いすゞのエルフ（平ボディ）の2トン車で、積載貨物はなし。東京・新宿の都庁天然ガススタンドで朝の開店直後に充填し出発。首都高の新宿インターから入り、東名高速、伊勢湾岸、東名阪、新名神高速、名神高速を走行。

当初は、そのまま門真市の自社へ戻る予定で、燃料メーターに余裕があれば神戸までと考えていました。しかし名神高速・京都南インターを通過した際にまだ1メモリ分の燃料が残っていたため、尼崎インター経由で阪神高速へ進み、第二神明、姫路バイパスを経て姫路東ランプで一般道に降りました。ここで大渋滞に巻き込まれ、燃料警告等が点灯して肝を冷やしたそうですが、17時過ぎに姫路・城の東エコ・ステーションに到着しました。

見事、東京から姫路までの無充填走破に成功。都庁前からの走行距離は619.6km、ガス充填量は55.4m³。m³当りの燃費は11.18kmでした。

ドライバーを勤めた池田氏は、出発に際し、「CNG車は航続距離が短いという‘うわさ’を払拭したい」と強調。走行に当たっては、省燃費運転を徹底するため時速80kmを堅持。東名高速での事故渋滞、阪神高速での断続的な渋滞、姫路のエコ・ステーション直前の渋滞等に見舞われましたが、600kmを超える距離を途中一度も充填することなく走破することに見事成功しました。

◆池田氏のコメント

CNG車をこれまで使ってきたなかで、世間と言われるCNGの航続距離は絶対におかしい。あれはガス欠が怖くて早めに燃料を入れてしまっているだけで、本当はもっと走れるのではないかとの思いが絶えずあり、一度限界まで走らせてみたいと思っていました。

今回は航続距離を出すために貨物も積まず、徹底した省燃費運転を行いました。通常でも東京から東名高速の上郷SAエコ・ステーションまで走るのは全く問題ないことが分かってもらえたと思います。長距離でもCNG車は対応出来るのです。これをきっかけに、世間の噂に惑わされずいろいろな場面でCNG車を使ってもらえればうれしいです。



無充填走行実験に使用した車両（いすゞエルフ2t、CNG車）



ドライバーを務めた(株)エコトラックの池田雅信取締役